

こ な こ と

やっています (その14)

農学部附属農場

農学部附属農場（以下、農場）は、峰キャンパスの南西に約12km、井頭公園の西隣に位置し、総面積101haを誇る全国でも屈指の規模を有する農場です。1983（昭和58）年にそれまで分散していた旧農場を移転、統合し現在に至っています。農場には作物、園芸、畜産、機械・土地利用の4部門があり、各部門に専任教員が配置されている点も大きな特徴です。

農学部の学生は時間数の差はあるものの、すべての学生が農場実習を体験するカリキュラムになっています。2012年（平成24年）からは基盤教育科目（以前の教養科目）として、農学部以外の学生への実習教育を開始、さらに教育学部の教職課程（技術・家庭科、栽培）の履修生を2019年（令和元年）から受け入れており、今年度から発足した群馬大学との共同教育学部カリキュラムにも農場が関与しています。

2010（平成22）年に長尾慶和現農場長が中心になり、全国に先駆けて文部科学省から共同利用拠点農場の認定（1期5年）を受けました。本認定は農場での教育実績、スタッフ、設備などが高く評価された結果であるといえ、首都圏や栃木県内の大学を中心に食育や環境関係専攻の学生の農業実習を2期10年にわたって受け入れてきており、現在3期目として継続中です。2019（令和元）年は延べ739人日の農場利用実績があり、日頃の教育・研究では得ることができない貴重な農業体験を提供してきました。

農場オリジナル商品の開発も手掛けており、水稲では「ゆうだい21」、乳製品では農場産生乳を利用した牛乳「純牧」、チーズ製品、園芸分野ではサツマイモを利用したオリジナル焼酎、醸造用ブドウ品種メルローを利用したオリジナルワインなどを手がけています。ゆうだい21は粘りが強く、冷えてもおいしい独特の食感をコメ卸業者が高く評価しています。農場などでの種子生産により全国に栽培を拡大し、大手コンビニエンスチェーンとの連携により、栃木県のみならず国内の多くの店舗で弁当用を中心とした業務用米として利用されています。生乳は乳牛の放牧飼養を採り入れ、県内酪農家との共励会でも上位入賞を果たす高品質な乳質が高く評価されています。飼養頭数の制約により、これら乳製品は大量生産ができないこともあって、入手困難なほどの人気製品揃いです。

オリジナルワインも原料となるブドウは醸造メーカーからその品質が高く評価されました。今後の発展が期待されるところです。

このように、農場では実学である農学の研究と教育、社会貢献へ教職員が一体となって日夜努力を重ねています。

（文責 農学部附属農場

高橋行継）



農場産生乳を利用した乳製品



ダイズの生育調査実習

フライング用中心点

昔の同窓時報を探しています

昭和16～23・25年の、同窓時報を探しています。また、同窓会に寄贈いただける古い写真などありましたら、以下までお送りください。

2022年（平成34年）4月30日まで募集しています。

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学内
農学部峰ヶ丘同窓会 あて
お問い合わせ：028-649-5400 峰ヶ丘同窓会事務局
minegaok@cc.utsunomiya-u.ac.jp



峰ヶ丘会報 第158号 令和2年10月10日発行 編集人 常任理事会 発行人 松澤 康男

発行所 宇都宮大学農学部峰ヶ丘同窓会 〒321-8505 宇都宮市峰町350

TEL・FAX 028 (649) 5400 e-mail:minegaok@cc.utsunomiya-u.ac.jp

郵便振替 00330-0-357 宇都宮大学農学部峰ヶ丘同窓会

印刷所 株式会社 井上総合印刷 TEL 028-661-4723